



CROSBY

STEREO POWER AMPLIFIER



CROSBY をご購入いただき、ありがとうございます。この製品は、独自の特徴を数多く備えた非常に高品質なパワーアンプで、M2TECH のすべての製品と接続して最高のパフォーマンスを発揮するように設計されています。

CROSBY は、専用の技術的・機能的ソリューションを備えています。高効率な D クラス・パワー・ステージ、豊富な入力端子、ブリッジ・モードによるモノラル動作で出力を増強する機能、トリガー入力などです。

CROSBY は、過電流と温度の過激な上昇を感知する洗練された回路を備えており、これによってアンプの過負荷を防ぐとともに、保護回路による音質劣化を最小限にとどめています。

CROSBY をご購入いただいたみなさまのご期待にお応えすることができると確信しています。みなさまのハイファイ・システムのサウンド・パフォーマンスが信じがたいほどの向上を示すことでしょう。さあ、まったく新しい音の体験への心の準備をしてください！

ナディア・マリノ (CEO)

将来必要になることがあるかもしれませんので、ご購入になった CROSBY のシリアルナンバーとご購入情報をここにひかえておいてください。

シリアルナンバー：

ご購入年月日：

ご購入店名：

注意：万一保証が必要になった場合には、ご購入を証明するもの（領収書など）を提示していただくことが必要です。

目次

- 第1章. 開封と設置
- 第2章. フロント・パネル（前面）
- 第3章. バック・パネル（背面）
- 第4章. 接続して電源を入れる
- 第5章. ユニットの清掃
- 第6章. ブリッジ・モノラル・モード
- 第7章. トリガー
- 第8章. 過負荷と保護
- 第9章. 仕様

第1章 開封と設置

CROSBY の入った箱をテーブルの上に置いて、カッターやナイフを使って開封します。内箱を傷つけないよう注意してください。内箱を取り出して開けます。中のトレイに以下の内容物が入っています。

- CROSBY 本体
- 電源コード

何かが入っていない場合は、ディーラーにご連絡ください。

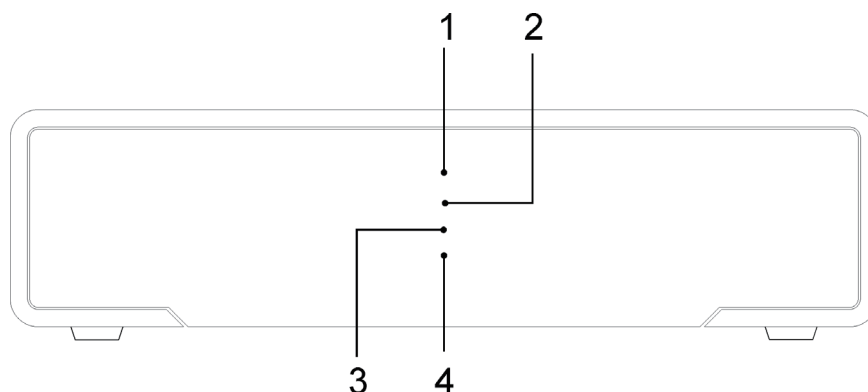
トレイから CROSBY を取り出し、熱の当たらないしっかりとしたテーブルに置いてください。本体に直射日光が当たらないようにしてください。通気のために、ユニットの周囲には十分に空間を確保してください。

CROSBY は、低インピーダンスのブリッジ・モノラル・モードで駆動すると、最大出力 400VA を生み出す能力を持ったパワーアンプです。そのため、効率が低いとはいえ、ごくわずかなパワーが熱として失われ、フルパワーで駆動していない時にも、ユニットは相当な熱を発生します。したがって、十分な通風を確保することをお勧めします。

煙、湿気、埃、液体のかからないところにユニットを設置してください。間違った使い方をされた場合は保証の対象外となります。

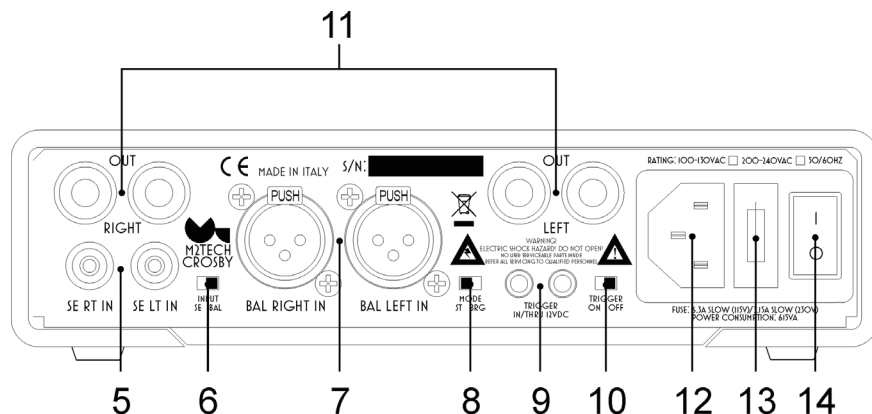
厚手のカーペットの上や、箱の中、家具の内側には設置しないでください。カーテンに近いところに設置するのも避けてください。

第2章. フロント・パネル (前面)



- 1) 過電流警告 LED (赤色) : CROSBY が定格を超える電流を供給しようとしている時に点灯します。
CROSBY が通常の許容電流内で動作するように、ボリュームを下げてください。
- 2) 動作中 LED (白色) : アンプが正常に動作している時に点灯します。
- 3) スタンバイ LED (青色) : CROSBY がスタンバイの状態にある時に点灯します。
- 4) 温度超過 LED (赤色) : CROSBY が高温になりすぎて安全に駆動できない状態にある時に点灯します。
CROSBY が通常の許容温度内で動作するように、ボリュームを下げてください。

第3章. バック・パネル（背面）



- 5) シングルエンド入力端子：プリアンプのシングルエンド出力をこの端子に接続します。RCA メス端子です。
- 6) 入力方式設定スイッチ：シングルエンド入力かバランス入力をを選択します。
- 7) バランス入力端子：プリアンプのバランス出力をこの端子に接続します。3 ピンの XLR メス端子です。ピン 1 = グラウンド（アース）、ピン 2 = ホット（送り出し）、ピン 3 = コールド（戻り）です。
- 8) モード選択スイッチ：ステレオ・モードか、ブリッジ・モノラル・モードかを選択します。
- 9) トリガー入力端子：プリアンプやその他の機器から CROSBY の電源を ON/OFF するための 12V のトリガー信号をこの端子のどちらかひとつに送ることができます。2 つの端子は並列接続になっているので、使用していない方はトリガー信号を他のユニットに（たとえば駆動のむずかしいスピーカー用にパワーを増すために 2 台の CROSBY をブリッジ・モノラル・モードで使用する際に、もう 1 台の CROSBY に）転送することができます。
- 10) トリガー ON/OFF スイッチ：トリガー機能が有効になるためには、CROSBY のトリガー入力のどちらかにトリガー信号が送られることが必要です。トリガー・スイッチを OFF にしても、リアパネルの電源スイッチが ON になっている場合は、CROSBY は直ちに ON の状態になります。
- 11) スピーカー・ケーブル接続端子：剥き出し線、フォークプラグ、スパードプラグ（Y ラグ）、各種ラグ端子、バナナプラグを接続することができます。
- 12) 電源コード接続ソケット：付属の電源コードを接続します。
- 13) ヒューズホルダー：中にスローブロー・ヒューズが入っています。リアパネルの表示を読んで、ご使用の電圧に対応した適正なヒューズを選んでください。
- 14) 電源スイッチ：CROSBY の電源を ON/OFF します。ユニットに電源を入れると、（トリガー ON/OFF スイッチの設定に応じて）動作中 LED（白色）またはスタンバイ LED（青色）が点灯し、CROSBY が使用可能状態またはスタンバイ状態になります。

第 4 章 . 接続して電源を入れる

警告：CROSBY と他の機器の接続は、すべてのユニットの電源がオフの状態か、接続されていない状態の時に行ってください。そうしないと、CROSBY や他の機器に損傷が生じることがあります。

第 3 章の「バック・パネル」をご参照ください。

警告：スピーカー出力端子のプラス側（赤色）をアースに接続してショートさせないでください。過電流保護回路が働いてアンプが損傷する可能性があります。

プリアンプまたはその他の機器（たとえば YOUNG MkIII など）を CROSBY のシングルエンド入力端子またはバランス入力端子に接続します。入力方式設定スイッチを接続した端子に合わせます。

トリガー機能を使用する場合は、3.5 ミリ・ジャックの付いたモノラル・ケーブルを CROSBY のトリガー入力のどちらか一方に接続します。トリガー信号をさらに他の機器に転送しなければならない場合は、もう一方の入力端子をスルーパス用に使用することができます。

警告：2 つのトリガー入力に異なった別々のトリガー信号を同時に送らないでください。

付属の電源ケーブルを CROSBY の電源入力ソケットに接続し、もう一方を家庭の電源コンセントに接続します。

バック・パネルの電源スイッチを押して CROSBY の電源を ON にします。トリガー ON/OFF スwitch の設定に応じて、フロント・パネルの動作中 LED（白色）またはスタンバイ LED（青色）が点灯し、CROSBY が使用可能状態またはスタンバイ状態（トリガー信号によって使用可能になるのを待っている状態）になります。

第5章 . ユニットの清掃

CROSBY を清掃する際は、やわらかくてわずかに湿った布を使用してください。アルコールその他のクリーニング液は、ユニットを損傷する可能性がありますので、使用しないでください。

ユニットの内部に液体をこぼしたりしないでください。どのようなタイプの液体も、ユニットの内部に入った場合は、保証の対象外となります。

フロント・パネルのプレキシガラス製の表示スクリーンに傷をつけないように注意してください。

第6章.ブリッジ・モノラル・モード

CROSBYは8Ωのスピーカーでチャンネルあたり60Wの出力を生み出す能力を持っています。リビングルームで中～高能率のスピーカーを通常のリスニング・レベルで使用する場合にはこれで十分ですが、カーペットやカーテンのある広い部屋で低能率のスピーカーを使用する場合には、もっとパワーが必要になることがあります。

これを実現するために、CROSBYをモノラル・モードで動作させることができます。2つのチャンネルをブリッジ接続して、1本のスピーカーを駆動するのです。こうすれば、CROSBYは8Ωのスピーカーで180Wまでの出力を、そして低インピーダンスなら400Wまでの出力を生み出すことができます。

もちろん、このブリッジ・モノラル・モードを選択した場合は、2本のスピーカーを駆動するには2台のCROSBYが必要になります。

ブリッジ・モノラル・モードを有効にするには、モード選択スイッチを「BRG」に設定し、入力信号を（選択したRACまたはXLRの入力端子に応じて）入力端子の「LEFT」に接続し、スピーカー・ケーブルを2つの出力端子の「+」の方（赤色）に接続します：スピーカー・ケーブルの「+」側を「LEFT」の赤色端子に、「-」側を「RIGHT」の赤色端子に接続するのです。このモードでは、2つの黒色の端子は使用しません。

警告：ブリッジ・モノラル・モードを選択した場合は、使用しているスピーカー出力端子（赤色）をアースに接続しないでください。2つの端子のうちのどちらかでもアースに接続してショートさせると、過電流保護回路が働いてアンプが損傷する可能性があります。

警告：上記の設定と接続は必ずCROSBYのスイッチをOFFにして行ってください。

第7章. トリガー

プリアンプから 5VDC または 12VDC のトリガー信号を送ることで CROSBY の電源を ON にすることができるので、プリアンプのリモコンでシステム全体の電源を ON/OFF することが可能になります。トリガーは、トリガー ON/OFF スイッチで有効にしなければなりません。この場合は、リアパネルの電源スイッチは常に ON の状態にしておかなければなりません。

第8章. 過負荷と保護

CROSBY は、パワーステージを損傷させる可能性のある過度の温度上昇や電流の供給を感知する高度な保護回路を備えています。もしも危険の可能性がある場合は、この保護回路が信号を遮断して、対応する LED を点灯させます。

万一こういう状態が発生した場合は、CROSBY の電源を切って温度を下げ、スピーカー・ケーブルが適切に接続されているかをチェックし、ボリュームを下げ、その後にもう一度 CROSBY の電源を入れてください。それでも過負荷の表示が続く場合は、アンプ本体が故障している可能性があり、修理が必要となります。

第9章. 仕様

入力感度：	1.25Vrms(RCA, XLR)
出力パワー：	60Wrms(ステレオ、8 Ω) 110Wrms(ステレオ、4 Ω) 180Wrms(ブリッジモノ、8 Ω) 350Wrms(ブリッジモノ、4 Ω)
残留ノイズ：	30uVrms(20Hz-20kHz, A weighted)
SNR：	112dB(A weighted)
THD+N：	0.003%(1Wrms, 4 Ω)
IMD：	0.0009%(10Wrms, 18.5kHz+1kHz)
TIM：	0.007%(10W)
入力電源電圧：	100V, 50/60Hz
消費電力：	615VA
ヒューズ：	スローブロー 3.15A もしくは 6.3A
サイズ：	200x50x200mm (w x h x d)
重量：	2.1kg